

あなたのふるさと薩摩川内！（通称：あなふるだせん！）

—企業版ふるさと納税「コンベンションシティ挑戦プロジェクト」—



「あなふるだせん！」第1弾の今回は、企業版ふるさと納税「コンベンションシティ挑戦プロジェクト」を活用しているSSプラザせんだいで管理・運営をされている^{たまり}玉利所長にインタビューしました！



^{たまり}玉利所長ご自身について教えてください。



川内駅コンベンションセンター（SSプラザせんだい）の所長を務めています。

今回の川内駅コンベンション施設整備運営事業の参画をきっかけに薩摩川内市に赴任しました。これまで公共施設運営をサポートする仕事に携わっていました。



▲今回インタビューに答えてくださった玉利所長。SSプラザせんだいの管理・運営をされています。



川内駅コンベンションセンター（SSプラザせんだい）はどのような施設ですか？

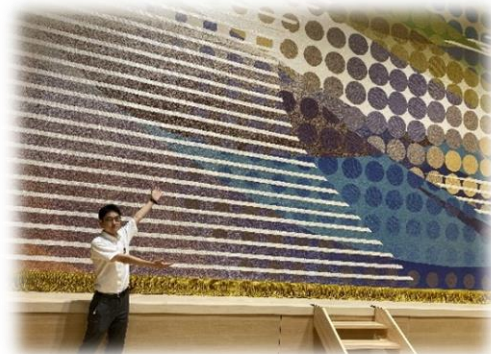


令和3年1月8日にオープンしたSSプラザせんだいは、最大約1,000人収容可能な多目的ホールと、大小様々な会議室、調理が可能な多目的室、和室などを備えており、多くの市民活動の場としてご活用いただけます。

移動観覧席を備えた多目的ホールは、コンサートだけでなく、講演会、展示会・商談会など**様々な行事にフレキシブルに対応可能**です。

そのほか、1階フロアには、子育てやささまざまな市民活動を支援する市民サポートセンターがあり、**より市民の生活に寄り添う活動拠点**としてご利用いただけます。

私を含め施設職員は、主に**多目的ホールや会議室の利用対応、自主事業イベントの企画運営等**を行っています。



▲企業版ふるさと納税を財源に整備された多目的ホールの**どんちよう**の**どんちよう**の**どんちよう**を紹介して下さる玉利所長。どんちようの**どんちよう**に込められた思いを語っていただきました。



多目的ホール内にある「**どんちよう**」は、昨年度企業版ふるさと納税を財源に整備されましたが、**どんちよう**には、どのような思いが込められているのですか？



薩摩川内市の藺牟田池は、国際的に重要な湿地に登録されており、豊かな植物が豊富に残っています。水鳥の生息地でもあることから、**どんちよう**には「**輝く未来へかける**」という画題が設定され、鳥が飛び立つ姿が描かれています。空に勢いよく羽を広げたその姿は、**未来に羽ばたく子どもたちの姿や薩摩川内市の今後の繁栄を表しています**。

色彩は水や田畑などの自然を感じる色で構成され、ウッド調の壁面をあしらったホール内との一体感も持たせています。



▲令和3年1月8日に行われた「SSプラザせんたい開所式」の様子。



▲令和3年1月8日に行われた成人式の様子。晴れ姿の新成人のみなさんを新たにオープンしたSSプラザさんだいでお祝いすることができました。



▲令和3年6月24日に開催された「学校と企業の情報交換会」の様子。市内企業26社、13の学校が参加され、活発な意見交換がなされました。



▲2階ホワイエにあるクリスタルピアノ。子どもたちも楽しんでいます。



現在のセンターの利用状況について教えてください。



令和3年1月8日～6月末にかけて、約32,000名の方にご利用いただき、メインとなる多目的ホールでは**成人式**や**講演会**、**吹奏楽演奏会**などが開催されました。

ホール・会議室だけでなく、「市民交流スペース」や子どもたちが自由に遊べる「プレイスペース」があり、様々な世代の方が憩い・交流する場として利用できます。授乳室やおむつ替えコーナーも整備されており、**特にお子様連れの方でも安心してお越しいただけますので、ぜひご利用をお待ちしております。**

SSプラザせんだいの様子



▲ 1階総合案内



▲ 1階ロビー



▲ 1階階段



▲ 小会議室



▲ 多目的室



▲ おむつ替えコーナー



▲ 2階ホワイエ



▲ 2階階段



▲ 2階ホール



▲ 3階からみた2階ホール



▲ 楽屋



▲ 大会議室



▲ 和室



▲ 外観



SSプラザせんだいについて、今後どのように市民の皆様に活用されることを期待していますか？



令和3年8月1日には、ホテルやレストラン、商業施設などが開業し、川内駅コンベンションパークとしてグランドオープンしました。お互いの相乗効果を発揮しながら、駅前の利便性を高めていきたいです。

九州新幹線、鹿児島本線、肥薩おれんじ鉄道の停車駅である川内駅から徒歩1分という好アクセスな立地をいかし、多様な人々の流れを創り出し、新たな賑わい創出につなげていければと思います。



最後に、市民の皆様一言お願いします！



人々の暮らしに多くの恵みをもたらした川内川のように新たな人の流れを創り出し、様々な交流と活動を生み出す交流拠点として地域をリードしていけるよう努めてまいります。



企業の皆様からいただいた企業版ふるさと納税を財源の一部とし、様々な設備や機能が整備され、令和3年8月1日についてグランドオープンしたSSプラザせんだい。市民の皆様にも愛される施設になるよう、市も努力してまいります！



今後も、企業版ふるさと納税を活用し、市民の皆様にも「薩摩川内市に住んでよかった！」と思われるまちづくりができるよう取り組んでいきます！

令和3年度の寄附募集対象事業は[こちら](#)！

企業版ふるさと納税制度

薩摩川内市の地方創生を応援してください。

地方公共団体が地方創生のために実施する事業に対し、企業様から寄附を行っていただく、税の優遇が受けられる「地方創生応援税制」が創設されました。

薩摩川内市では、本制度を活用し、次の地方創生プロジェクトにご支援いただける企業様を募集しています。

最大9割減税

例えば、100万円寄附した場合、税の軽減は90万円となり、企業様の実質的な負担は10万円となります。

企業版ふるさと納税制度を活用された場合、これまでの損金算入による寄附額の約3割に相当する税の軽減に加え、特例措置によって、6割が上乗せされ、合わせて9割に相当する額が軽減されます。

企業版ふるさと納税制度

通常の税制	銀行（税額控除最大3割）	拡充（税額控除最大3割）	企業版ふるさと納税
損金算入約3割			企業版ふるさと納税
寄附額			

①R2.4.1以降に新たに対象する事業年度から適用

本制度の対象となる地方創生プロジェクト

ESGで経済社会イノベート推進プロジェクト

本市と九州大学大学院芸術工学研究院の「SDGsを通じた持続可能なまちづくりに係る連携協定」に基づいた循環経済産業都市の実現に向けた取り組みを実施します。

コンベンションシティ挑戦プロジェクト

SSプラザせんだいに学会や展示会、イベント等の誘致を推進し、交流人口の拡大及び賑わいのある街なか拠点の形成を図ります。

竹林ビジネス産業化プロジェクト

「竹」の有効利用による産業創出や雇用創出を図るため、市内事業者等が、市内のチップ工場へ（ルプ）用材等を搬入する際、その買取単価への上乗せ助成（3.3円/kg）を行い、竹の伐採・搬入者及び竹財供給量の増加を促します。

若者就労者奨学金返還支援プロジェクト

若い世代の負担となっている奨学金の返還を支援し、若い人材の市内就労と市外への転出抑制を図るため、革命に拮抗します。

もう一人子どもを持ちたい夢叶えるプロジェクト

子どもの誕生を祝し、市内の登録産婦で使用できる商品券（第1子：1万円分、第2子：3万円分、第3子以降：5万円分）を支給します。登録産婦は授乳やおむつ替えが行えるスペースを備えることで、子育て中の親子が安心して外出できる環境整備を図ります。

若者・UIJターン応援プロジェクト

市内の中小企業等に新たに就職する新卒者等に対し、奨学金を交付し、新卒者等の就労促進と中小企業等の人材確保を支援します。一人あたり：10万円支給

寄附の要件等

- 薩摩川内市外に本社のある企業様がご利用いただけます。
- 優遇制度の対象となる寄附額は10万円以上です。
- 返礼品等はありません。
- 同意いただきました企業様は、社名等をホームページで紹介いたします。

9

「SSプラザせんだい」のHPは[こちら](#)！

「SSプラザせんだい」の寄附プランは[こちら!](#)

寄附プラン（法人様向け）

寄附金額に応じて、4種類のプランを設定し、それぞれのプランに応じて企業様へ各種特典をご用意しています。

法人寄附プラン詳細	プラチナ 1,000万円以上	ゴールド 500万円以上	シルバー 100万円以上	ブロンズ 10万円以上
① ロビーへのポスター掲出スペースの提供	● A 1-1 枚-3年	● A 1-1 枚-2年		
② ホームページへのバナー掲出枠提供	● 1枠-3年	● 1枠-2年	● 1枠-1年	
③ デジタルサイネージでの企業名紹介	● 3年	● 2年	● 1年	
④ 多目的ホール座席ネームプレートの掲示	● 先着3社-3年	● 先着5社-2年	● 先着12社-1年	
⑤ 館内ネームプレートの掲示	● 特大	● 大	● 中	● 小
⑥ 感謝状	●	●	●	●
寄附金を活用して 整備予定の設備	・屋外用ディスプレイ・その他備品 ・イベント誘致経費			
整備済みの設備	・絨帳 ・舞台所作台 ・鳥屋囲い ・金屏風 ・ピアノ ・映画用スクリーン ・プロジェクター ・移動式スクリーン			